

# 郷中だより

令和 元年 11月29日  
倉敷市立郷内中学校長発行  
学校だより 第 20 号

## 1年生 郷内班別活動



11月21日、1年生が、総合的な学習のテーマである「地域学習」として、郷内の歴史や史跡を学習する「郷内探究班別活動」を行いました。出発式では歴史保存会の小林会長さんからもお話をいただきました。郷内は「奇跡的に残った宇宙空間」とさえ言われる神秘的な場所だそうです。そのあと班ごとに移動し、それぞれの史跡で郷内歴史保存会の方々が説明をしてくださいましたので、より詳しく歴史を知ることができ、充実した活動になりました。

それぞれの場所に立っている標柱の文字は、すべて数学の古市先生が書かれたそうです。

1年生の「学年だより12月号」に、生徒の感想で『さらに郷内のことが好きになりました。郷内を守り続けていきたいと思います。』とあり、うれしくなりました。1年生の中からも将来、歴史保存会を継いでくれる人が出るかもしれませんね。

郷内歴史保存会の皆さんをはじめ、この活動にご協力くださいました多くの皆さん、たいへんお世話になり、ありがとうございました。



## 2年生 チャレンジワーク



11月19日～21日の3日間、33の事業所で、職場体験活動をお世話になりました。

初日は緊張の連続だったと思いますが、学校では体験できない貴重な経験をさせていただき、有意義な学習ができました。お忙しい中、快く受け入れてくださった事業所の皆さま、たいへんお世話になり、ありがとうございました。





事業所の休業日には、学校で平松先生の手伝いをしました。

### 【生徒の感想から】

- 児島駅なのに他の無人駅の掃除やクレーム対応など、とても大変ですがやりがいのある仕事だと思った。
- まず一番にお客さんのことを考えて見映えなどに気をつける。7時間立ちっぱなしで手も動かしてとても疲れた。3日間でも疲れたのに毎日やっているのは大変だと思った。(パンコーナー)
- 幼稚園で子どもたちが帰ったあとに教室掃除や本の整理などをして、保育士さんの忙しさが学べた。子どもにわかりやすく言うのは、とても難しかった。仕事で頼まれたことは必ずだれかの役に立っているのだと思った。
- ケーキなどを袋に詰める時に傾かないように入れるとか、スプーンの数を考えるなど、私が買う側だったら知らないことがあったので、買い物をするときの視点が変わったと思う。思いやりをもって仕事をされていることがわかった。
- 短い期間でしたが、自分のなりたい職業の主な内容や、普段は見えないところでの作業などを知り、実際に体験もできました。職場体験前よりも、もっと職業に就きたいという気持ちが増し、まずは、勉強をがんばろうと思いました。
- 車いす体験やAED、心電図の説明などが聞いて貴重な体験ができました。また、注射のあとのごみの分別がたいへんでした。外来の看護師さんも大変な仕事だと思いました。
- 保育士さんは子どもたちの命をあずかっている立場なので、叱る場面もあるけど、子どもたち一人一人のことをちゃんと見ていてすごいと思うし、子どもたちとの遊び方や世話の仕方など勉強になった。子どもとのかかわり方を学んだ。

### 最近 感心したこと😊



毎年、中学校では地震や火災などの避難訓練を実施していますが、実際に災害が発生した時、とっさに訓練どおりの行動がとれるかどうかは、わからないことでした。

今週火曜日の6時間目の授業中に地震が発生しました。余震があるかもしれないという判断で、「グラウンドに避難」という放送がありました。先生方の的確な指示・誘導のもとに、校舎から避難を始めました。移動中、無言で、うわばきの音だけが聞こえ、点呼もたいへんスムーズでした。避難訓練とは比べ物にならないほどの速さに、郷内中の生徒、先生方の災害に対する意識の高さを感じました。また、地震発生に気づき、自主的に机の下にもぐった生徒も約8割いました。さらに、3年生は2クラスとも教室のドアを開けて避難できました。全員がとっさに判断して素早く行動できたことが、たいへん素晴らしいです！